

TEL 233 340 000  
 FAX 224 313 684  
 Email gakko@jpschool.cz

# VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

## ～違いの中に同じを見つける～ (3月17日修了式校長講話)

卒業式は授業だと言う話をしましたので、今日は復習をしましょう。先生の心に残ったのは、6年生が言った「あきらめるのではなく、その良さを探そう」「前向きに考える」「勇気を出しての第一歩」「本気の楽しさ」「平和の大切さ」ですが、とりわけ6年生がみんなで声を合わせて言ってくれた「努力を惜しまず、前へ前へと歩いていきます」の一言に尽きるのかも知れません、また、根っこの話がありました。学校の勉強や生活は、みんなの根っこをつくるものです。決して怠けてはいけません。つらくても頑張りましょう。さて、先生の話は覚えていますか。卒業式は自分との出会いだということです。今日は修了式ですから、卒業式ほどは大きくはないけれども、大切な自分との出会いの日です。1年間のまとめをしましょう。そして、29年度の4月になって、どんな自分になるかを想像して、新しい目標を立ててください。

大使館の古郡さんはとても大切なお話をしてくれました。「誰もが同じ人間、誰もが幸せを望んでいる」と言うお話です。皆さんはチェコと日本という二つの文化の間で生きています。すると、違いばかりに目が向いてしまいます。たとえば、言葉、髪の毛の色、肌の色、建物の違い、習慣の違いなど、違いばかりに目が向いてしまうのです。でも、「誰もが同じ人間、誰もが幸せを望んでいる」ことは同じです。同じ人間どうし、違いの中に必ず共通するものがあることに気づいてほしいと思います。皆さんのように、二つの国で、二つの文化の中で生きるという機会はほとんどの小中学生にはありません。海外にいる仲間は約78,000人ですが、日本にいる子どもの100万人に比べればほんの少しです。海外で生活するという事は本当に貴重な経験と言えます。ちょっぴり海外旅行に出かけても、外国と日本の違いにしか目が向きません。だってそれが面白いのですからね。でも、ほんとうに大切なことは違いの中に、人間として共通なものがあることを発見することです。それが、「誰もが同じ人間、誰もが幸せを望んでいる」と言う言葉だと思います。違いだけではなく、世界と日本に共通するものを発見できた時に、藤原君の「インター校と日本人学校で学べたことを誇りに思って今日卒業します」って言葉が出るのだと思いました。この春休みに、「違い」と「同じ」を見つけてください。

＝転出のお知らせ(追加)＝  
 中学部1年 梶田 さん

国際性に関する生活アンケートの結果より (29年2月実施、対象は小4年以上)

